

令和6年1月～12月 奈良県宿泊統計調査 結果の概要

- ・延べ宿泊者数は、令和5年比**12.2%増加**の3,296,688人であり、新型コロナウイルス感染症拡大前である令和元年比**16.8%増**であった。
- ・外国人延べ宿泊者数は、令和5年比**66.0%増加**の509,140人であり、新型コロナウイルス感染症拡大前である令和元年比**3.8%減**であった。

奈良県宿泊統計調査の概要

- ・県内の宿泊動向を把握するため、四半期毎に調査対象となる宿泊施設※に調査票を送付し、調査を実施した。
- ・営業形態(ホテル、旅館、簡易宿所、キャンプ場)別、6つのエリア別に延べ宿泊者数、外国人延べ宿泊者数、客室稼働率等を推計した。
- ・旅館業の営業許可を受けている観光・ビジネス向け(ラブホテル・ラブホテルと思われる施設を除く)宿泊施設から、確認失効、休業施設を除いた数である。

推計方法

延べ宿泊者数

- ①エリア別、業態別に回答のあった宿泊施設の月別の「延べ宿泊者数」を「定員数に月中営業日数を乗じた数値」で除して、平均定員稼働率を求める。
- ②県内548件の宿泊施設のエリア別、業態別の総定員数を求める。
- ③②で求めた総定員数に①で求めた月別平均定員稼働率を乗じる。

外国人延べ宿泊者数

- ①外国人延べ宿泊者数の回答のあった施設の月中延べ宿泊者数に対する外国人延べ宿泊者数の比率を求める。
- ②①で求めた比率に県内548件の宿泊施設のエリア別、業態別の総宿泊者数を乗じる。

外国人延べ宿泊者の国籍割合

- ①外国人延べ宿泊者数の国籍割合について、回答のあった施設の人数を合計する。
- ②各国籍別人数の合計を①で求めた合計で除して、割合を求める。

客室稼働率

「客室稼働率」の記載のある宿泊施設については当該数値を用い、記載のない宿泊施設については、「延べ客室稼働数」を「月末現在客室数に月中営業日数を乗じた数値」で除して求めた数値を用いた。

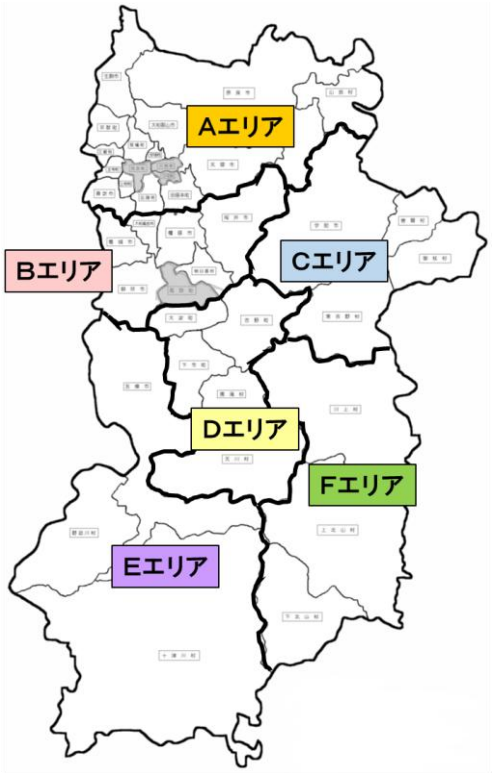
奈良県宿泊統計調査 エリア内訳

エリア別施設数等

エリア	宿泊施設数 (件)	客室数 (室)	定員数 (人)	回収数 (件)	回収率 (%)
A	232	6,954	18,086	154	66.4%
B	62	997	2,808	46	74.2%
C	54	361	1,827	31	57.4%
キャンプサイト		71	429		
D	116	918	5,119	65	56.0%
キャンプサイト		321	1,322		
E	49	416	1,505	32	65.3%
キャンプサイト		20	92		
F	35	256	1,166	22	62.9%
キャンプサイト		61	120		
合計	548	9,902	30,511	350	63.9%
キャンプサイト		473	1,963		

※キャンプサイトは外数

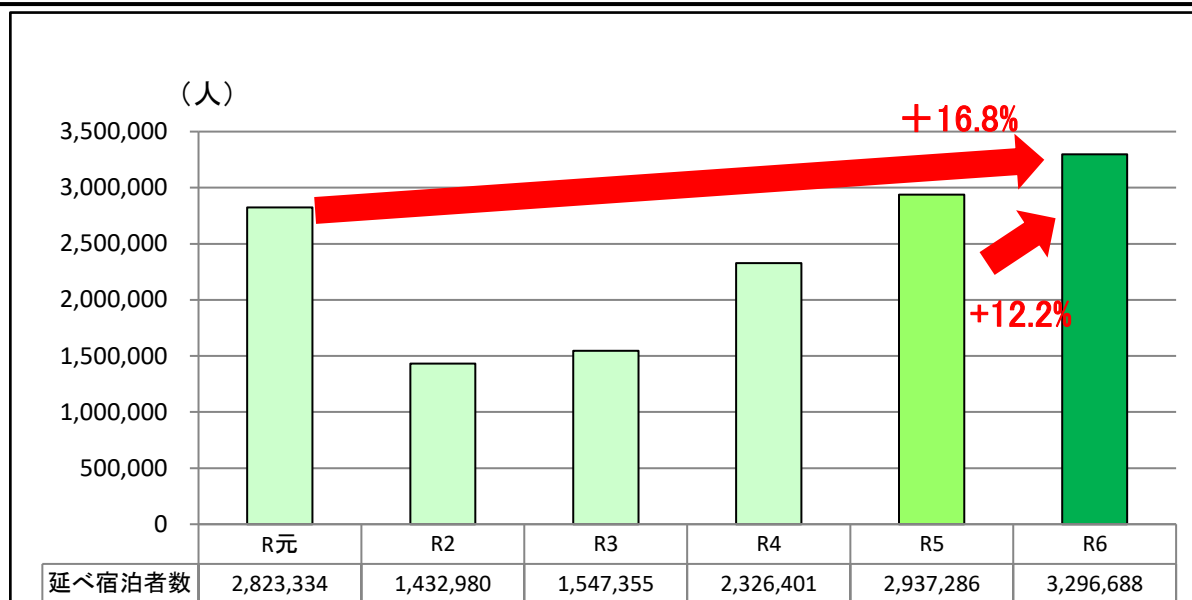
各エリアの市町村一覧



A	奈良市、生駒市、天理市、大和郡山市、香芝市、平群町、三郷町、王寺町、斑鳩町、安堵町、上牧町、広陵町、三宅町、田原本町、山添村
B	大和高田市、橿原市、桜井市、御所市、明日香村
C	宇陀市、曽爾村、御杖村、東吉野村
D	吉野町、大淀町、下市町、黒滝村、天川村
E	五條市、野迫川村、十津川村
F	川上村、上北山村、下北山村

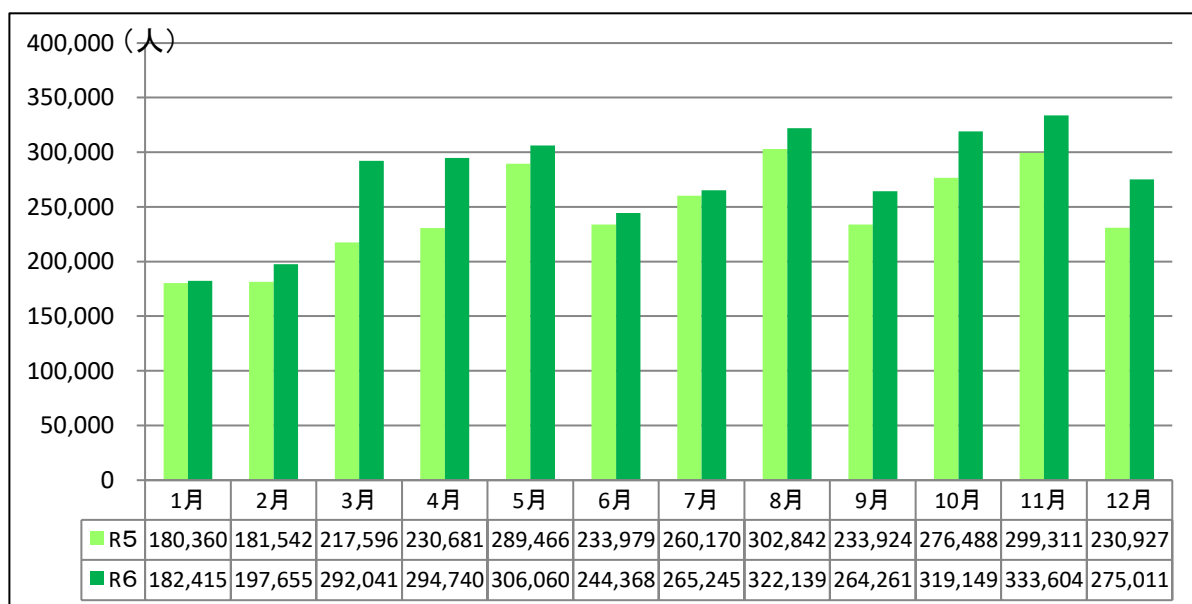
※対象宿泊施設無し：葛城市、河合町、川西町、高取町

延べ宿泊者数の推移(R元～R6年)



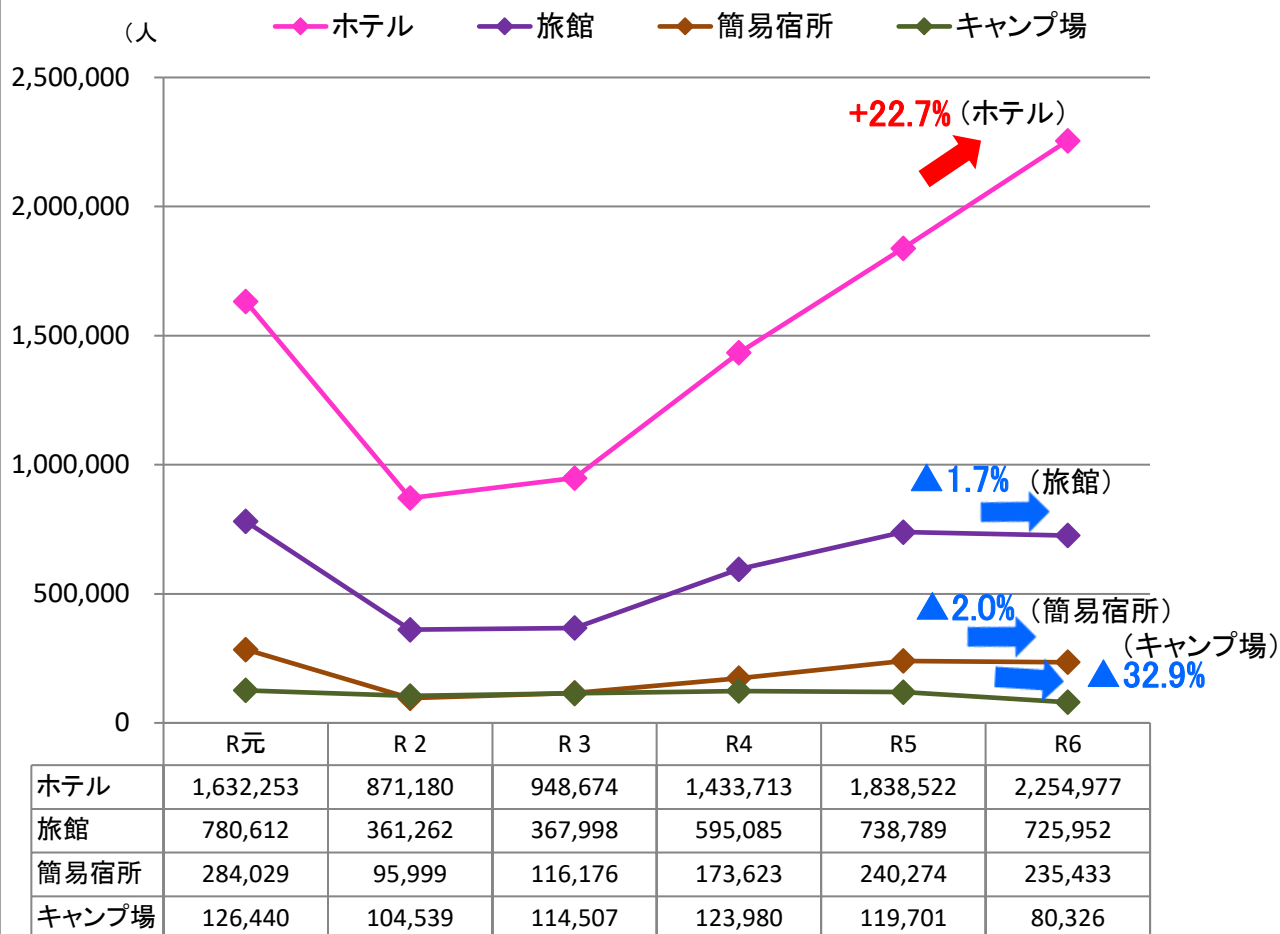
- ・令和6年は、外国人旅行者の増加が大きく寄与したことなどから、令和5年と比べ、359,402人（12.2%）増加した。
- ・新型コロナウイルス感染症拡大前である令和元年と比べても、473,354人（16.8%）増加した。

延べ宿泊者数の月別推移（R5～R6）



- ・令和5年と比較して宿泊者数の増加が特に顕著であったのは、3月～4月と10月～12月の期間である。
- ・3月～4月は観桜の時期であり、特に休日の天候に恵まれたことが宿泊者数増加の要因と思われる。
- ・10月～12月は紅葉シーズンが例年より長かったことや年末の9連休に伴い観光客が多く訪れたことが宿泊者数増加の要因と思われる。

業態別延べ宿泊者数の推移(R元～R6年)



令和5年比較

ホ テ ル	令和5年比	416,455人増加(+22.7%)
旅 館	令和5年比	12,837人減少(▲1.7%)
簡 易 宿 所	令和5年比	4,841人減少(▲2.0%)
キャンプ場	令和5年比	39,375人減少(▲32.9%)

令和元年※比較

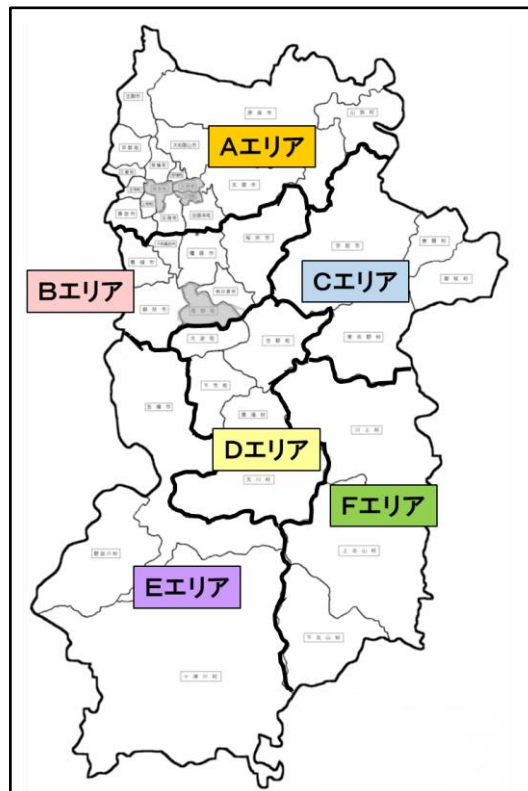
※新型コロナウイルス感染症の感染拡大前

ホ テ ル	令和元年比	622,724人増加(+38.2%)
旅 館	令和元年比	54,660人減少(▲7.0%)
簡 易 宿 所	令和元年比	48,596人減少(▲17.1%)
キャンプ場	令和元年比	46,114人減少(▲36.5%)

- ・ 令和6年は、ホテルは令和5年と比べて宿泊者数が増加したが、旅館、簡易宿所、キャンプ場は同比で減少した。
- ・ キャンプ場は、令和5年と比べて32.9%の減少となっており、キャンプブームは減退している。

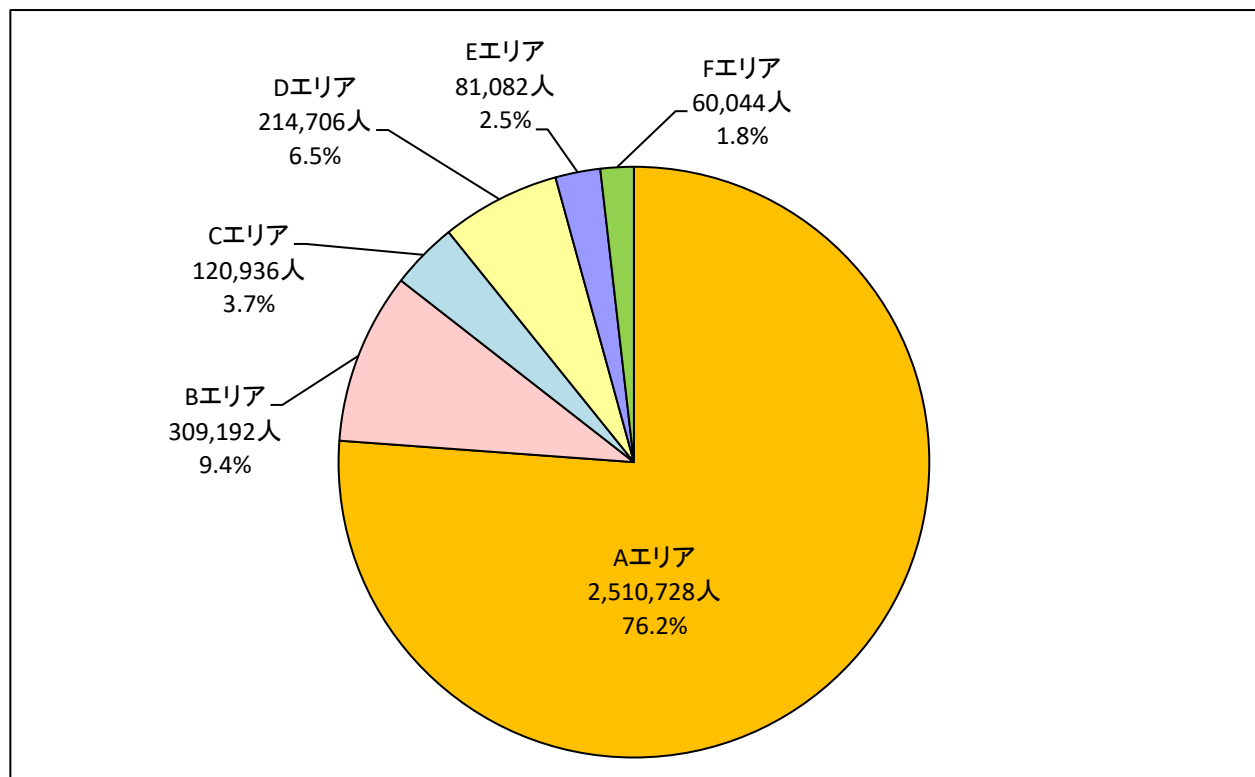
エリア別延べ宿泊者数の割合

各エリアの市町村一覧

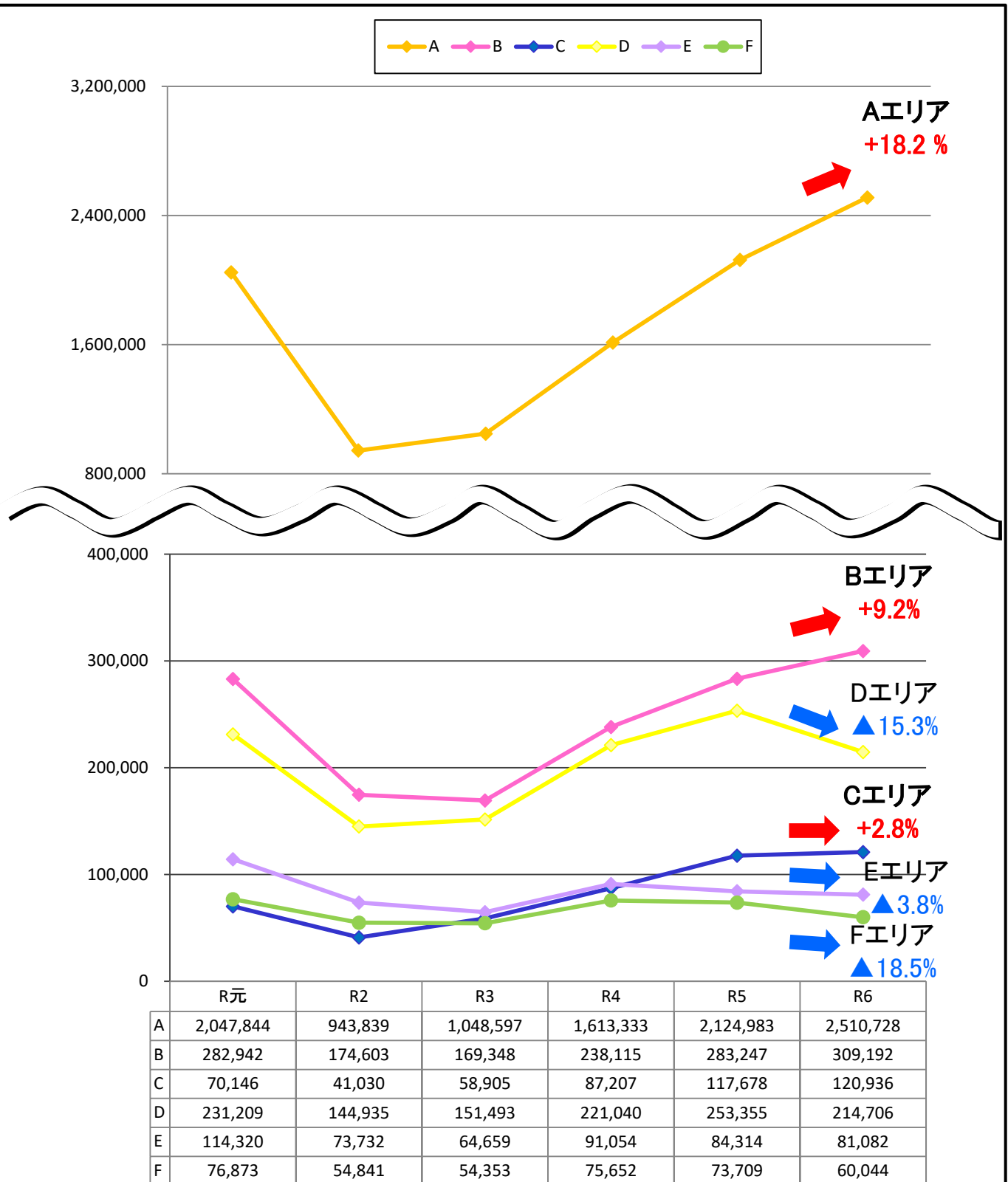


A	奈良市、生駒市、天理市、大和郡山市、香芝市、平群町、三郷町、王寺町、斑鳩町、安堵町、上牧町、広陵町、三宅町、田原本町、山添村
B	大和高田市、橿原市、桜井市、御所市、明日香村
C	宇陀市、曽爾村、御杖村、東吉野村
D	吉野町、大淀町、下市町、黒滝村、天川村
E	五條市、野迫川村、十津川村
F	川上村、上北山村、下北山村

※対象宿泊施設無し：葛城市、河合町、川西町、高取町

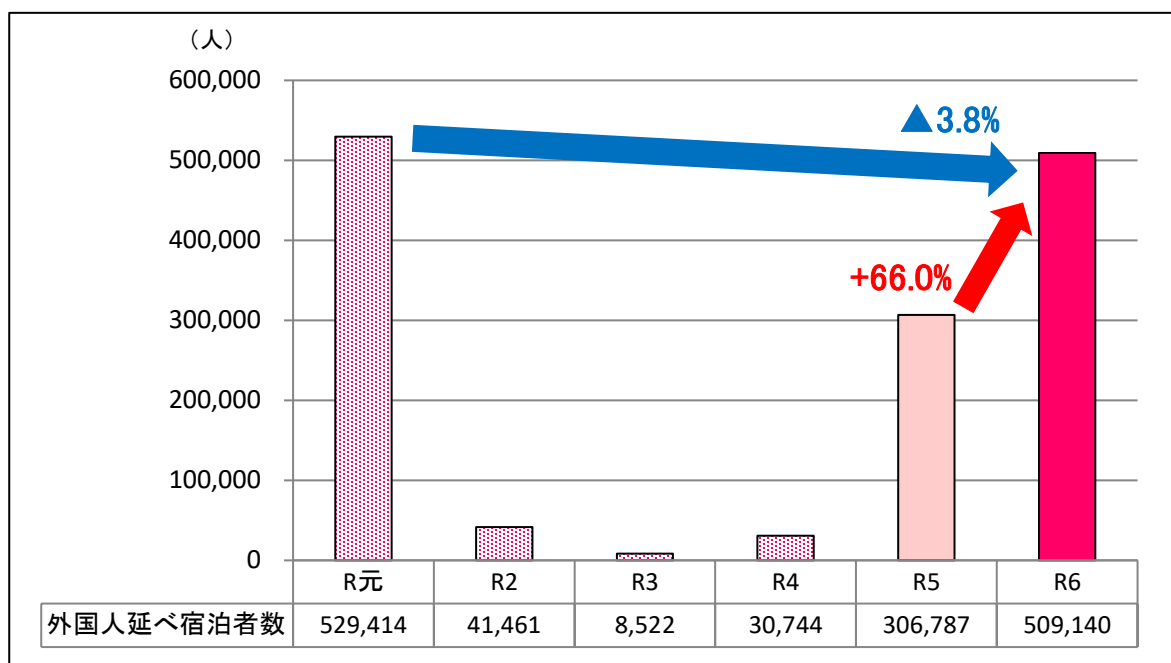


エリア別延べ宿泊者数の推移(R元～R6年)



- ・令和5年と比べて、Aエリア、Bエリア、Cエリアの宿泊者数が増加している。
Aエリアは18.2%増と増加率が顕著である。
- ・令和5年と比べて、Dエリア、Eエリア、Fエリアの宿泊者数は減少している。
- ・新型コロナウイルス感染症拡大前である令和元年と比べて、Cエリアの宿泊者数は大幅に増加しており、Aエリアも増加している。また、Bエリアでは令和元年と同水準以上まで回復しているが、Dエリア、Eエリア、Fエリアの回復の動きは鈍い。

外国人延べ宿泊者数の推移(R元～R6)

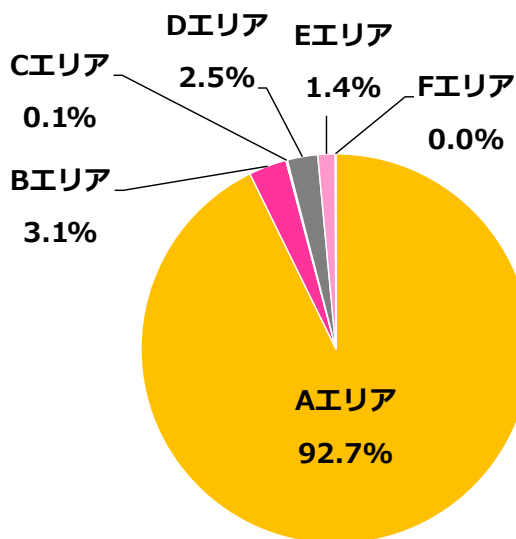


- ・外国人延べ宿泊者数 509,140人
- ・令和5年との比較 202,353人増加 (+66.0%)
- ・令和元年との比較 20,274人減少 (▲3.8%)

- ・令和4年10月に新型コロナウイルス感染症に関する水際対策に係る措置が大幅に緩和されて以降、順調に増加しているが、新型コロナウイルス感染症拡大前である令和元年と比較すると、3.8%の減少となった。

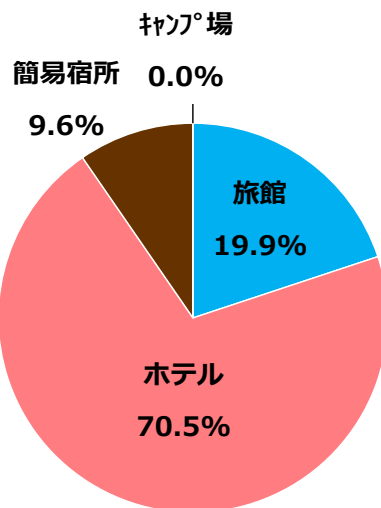
外国人延べ宿泊者数の割合

R6年 エリア別外国人延べ宿泊者数



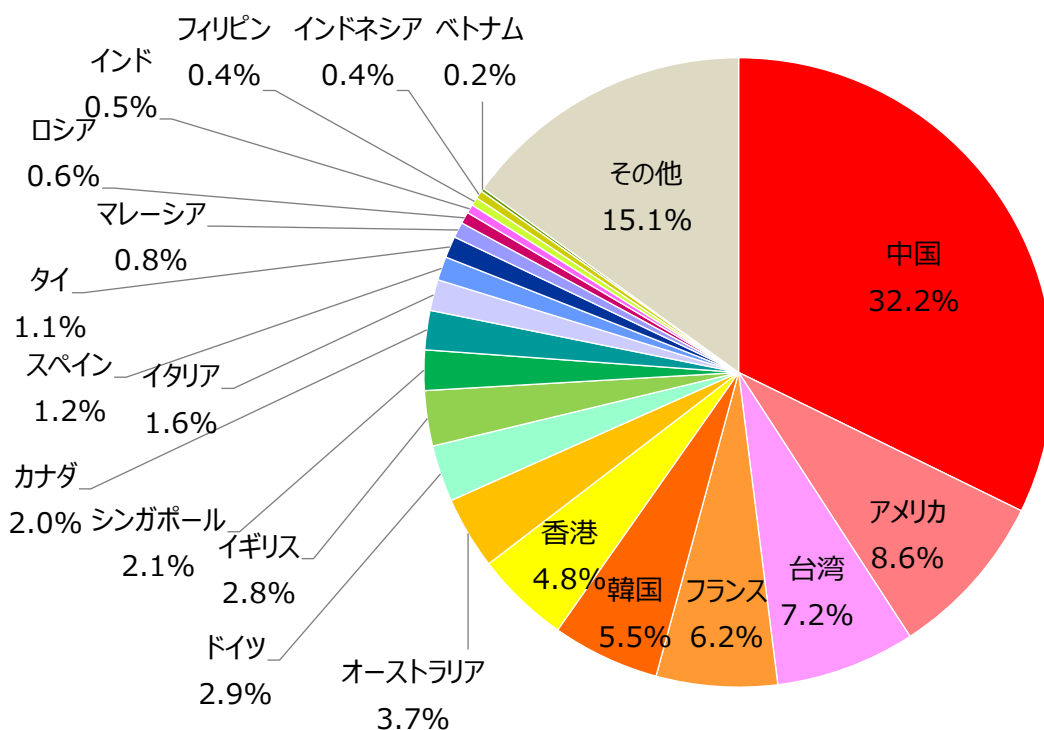
- ・ 令和5年同様、約9割がAエリアに集中。
- ※Aエリアの外国人延べ宿泊者数は令和5年と比べ、184,778人増加した。

R6年 業態別外国人延べ宿泊者数



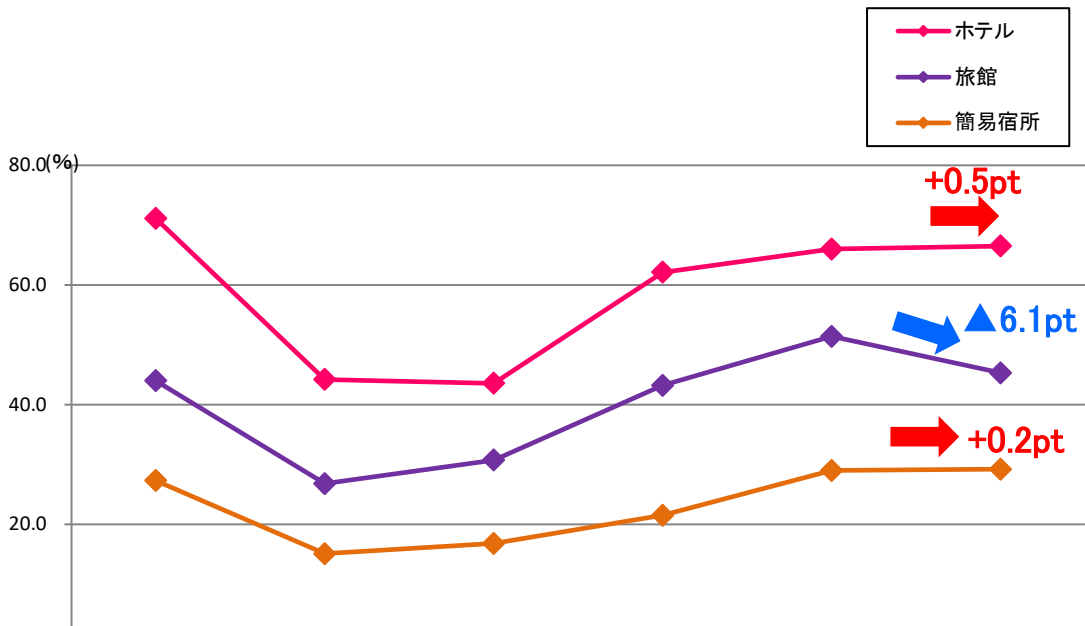
- ・ 業態別ではホテルに約7割が集中。

外国人延べ宿泊者の国籍割合



※国別割合は小数点以下の端数処理の関係で、合計は100.0%にならない場合がある。

客室稼働率の推移(R元～R6年)



令和5年比較

ホテル	令和5年比	0.5ポイント上昇
旅館	令和5年比	6.1ポイント低下
簡易宿所	令和5年比	0.2ポイント上昇

令和元年※比較

※新型コロナウイルス感染症の感染拡大前

ホテル	令和元年比	4.6ポイント低下
旅館	令和元年比	1.3ポイント上昇
簡易宿所	令和元年比	1.9ポイント上昇

- ・ 令和5年と比べ、旅館は稼働率が減少、ホテルと簡易宿所はほぼ横ばい。
- ・ 新型コロナウイルス感染症拡大前である令和元年と比べて、旅館は1.3ポイント、簡易宿所は1.9ポイント上昇したものの、ホテルは4.6ポイント低下した。